



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション

上場取引所

東

コード番号 8025

URL <https://www.tsukamoto.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名） 百瀬 二郎

問合せ先責任者（役職名）取締役コーポレート本部副本部長

（氏名） 角田 英二 （TEL）03-3279-1330

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	4,740	11.7	△102	—	10	—	12	—
2025年3月期中間期	4,245	△15.7	△253	—	△181	—	△121	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,133百万円（—％） 2025年3月期中間期 △475百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	3.01	—
2025年3月期中間期	△30.22	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	30,334	15,066	49.7
2025年3月期	28,898	14,054	48.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 15,066百万円 2025年3月期 14,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	—			
2026年3月期（予想）			—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	10,000	3.3	10	—	50	—	150	37.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. (4) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	4,069,747株	2025年3月期	4,069,747株
2026年3月期中間期	34,758株	2025年3月期	34,502株
2026年3月期中間期	4,035,164株	2025年3月期中間期	4,035,636株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料 4 ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の関税政策、地政学的リスクの長期化、原材料・エネルギー価格の高止まりの影響や物価上昇の継続による消費者マインドの低下など依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下において、当社グループはユニフォーム事業の大幅な受注増が全体を牽引し、増収となるとともに収益の改善を実現しました。

厳しい経営環境ではありますが、当社グループは高採算事業へのリソース集中を図るべく、各事業におけるポートフォリオの見直しを断行するとともに、組織体制の強化を通じて事業構造改革の基盤構築に注力しております。今後も、早期に安定した事業基盤を確立し、将来の持続的な成長へとつなげてまいります。

引き続き、当社が創業以来培ってきた「商人魂」と「フロンティア精神」のもと、伝統を継承しながらも改革を実行し、企業価値の一層の向上を目指してまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高は4,740百万円（前年同期比11.7%増）、営業損失は102百万円（前年同期は営業損失253百万円）、経常利益は10百万円（前年同期は経常損失181百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は12百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失121百万円）となりました。

セグメントの状況は以下の通りです。

<和装事業>

ツカモト市田株式会社の和装事業につきましては、加工の受注は堅調に推移しましたが、不採算働事からの撤退もあり、減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は417百万円（前年同期比10.2%減）、セグメント損失（営業損失）は94百万円（前年同期はセグメント損失84百万円）となりました。

<洋装事業>

アパレル事業につきましては、レディースOEM事業は前年並みに推移しましたが、メンズ事業におけるGMS向け商品の販売が減少し減収となりました。

ユニフォーム事業につきましては、ユニフォーム商品の新規案件の受注、継続案件の納品が増加したことにより、大幅な増収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は2,463百万円（前年同期比37.3%増）、セグメント利益（営業利益）は133百万円（前年同期はセグメント損失84百万円）となりました。

<ホームファニッシング事業>

ホームファニッシング事業につきましては、OEM受注の減少に加え、直営店舗における販売が当初計画を下回ったことにより、大幅な減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は137百万円（前年同期比34.5%減）、セグメント損失（営業損失）は149百万円（前年同期はセグメント損失54百万円）となりました。

<健康・生活事業>

健康・生活事業につきましては、サウナ機器の受注は堅調に推移しましたが、テレビ等の通信販売、GMSや家電量販店での販売が低迷し減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,241百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント損失（営業損失）は185百万円（前年同期はセグメント損失176百万円）となりました。

＜建物の賃貸業＞

建物の賃貸業につきましては、テナント状況に大きな変化もなく、売上高は前年並みに推移しましたが、費用が増加したため減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は538百万円(前年同期比1.3%減)、セグメント利益(営業利益)は292百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ1,436百万円増加し30,334百万円となりました。これは、流動資産における現金及び預金が481百万円減少したこと、棚卸資産が418百万円増加したこと、投資その他の資産における投資有価証券が時価評価により1,719百万円増加したこと及び出資金が300百万円減少したこと等が主な要因となります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ423百万円増加し15,267百万円となりました。これは、流動負債における支払手形及び買掛金が139百万円減少したこと及び固定負債における繰延税金負債が540百万円増加したこと等が主な要因となります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1,012百万円増加し15,066百万円となりました。これは、株主資本における利益剰余金が108百万円減少したこと及びその他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が1,177百万円増加したこと等が主な要因となります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、1,582百万円となり前連結会計年度末から481百万円の減少(前年同期は856百万円の減少)となりました。この主な要因は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の減少は763百万円(前年同期は771百万円の減少)となりました。これは棚卸資産が増加し、仕入債務が減少したこと等が主な要因であります。この結果、前年同期と比べて8百万円の支出の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の増加は206百万円(前年同期は24百万円の増加)となりました。これは、出資金の回収が主な要因であります。この結果、前年同期と比べて181百万円の収入の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増加は75百万円(前年同期は109百万円の減少)となりました。これは短期借入金の増加及び長期借入金の返済による支出が主な要因であります。この結果、前年同期と比べて185百万円の収入の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想としましては、現段階で2025年5月15日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、通期の業績見込みにつきまして見直しが必要と判断した場合には、直ちに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,073,674	1,592,576
受取手形及び売掛金	1,447,563	1,507,570
電子記録債権	101,039	105,497
棚卸資産	1,885,586	2,303,745
その他	620,779	603,495
貸倒引当金	△2,556	△2,826
流動資産合計	6,126,087	6,110,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,054,893	2,070,700
土地	10,562,576	10,562,576
その他(純額)	106,866	107,281
有形固定資産合計	12,724,336	12,740,559
無形固定資産		
その他	70,217	74,920
無形固定資産合計	70,217	74,920
投資その他の資産		
投資有価証券	8,066,425	9,785,938
出資金	800,120	500,120
退職給付に係る資産	980,707	984,521
その他	266,496	274,319
貸倒引当金	△135,763	△135,763
投資その他の資産合計	9,977,986	11,409,135
固定資産合計	22,772,540	24,224,615
資産合計	28,898,627	30,334,674
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	885,135	745,898
電子記録債務	964,331	924,407
短期借入金	4,894,768	5,778,360
1年内返済予定の長期借入金	1,950,000	1,300,000
未払法人税等	35,404	43,810
未払消費税等	3,305	2,663
資産除去債務	3,185	3,185
店舗撤退損失引当金	12,107	12,107
その他	502,392	354,094
流動負債合計	9,250,630	9,164,527
固定負債		
長期借入金	1,087,373	1,063,559
繰延税金負債	3,529,859	4,070,755
再評価に係る繰延税金負債	13,032	13,032
退職給付に係る負債	154,841	158,680
資産除去債務	10,028	10,065
その他	798,081	787,204
固定負債合計	5,593,217	6,103,299
負債合計	14,843,848	15,267,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829,844	2,829,844
資本剰余金	713,177	713,177
利益剰余金	6,362,988	6,254,239
自己株式	△41,493	△41,836
株主資本合計	9,864,517	9,755,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,881,718	5,058,763
繰延ヘッジ損益	163	△229
土地再評価差額金	8,780	8,780
退職給付に係る調整累計額	299,600	244,108
その他の包括利益累計額合計	4,190,262	5,311,422
純資産合計	14,054,779	15,066,847
負債純資産合計	28,898,627	30,334,674

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,245,615	4,740,742
売上原価	2,946,213	3,227,224
売上総利益	1,299,401	1,513,517
販売費及び一般管理費	1,553,221	1,615,606
営業損失(△)	△253,820	△102,088
営業外収益		
受取利息	1,590	1,938
受取配当金	124,914	175,400
保険配当金	5,092	5,220
その他	2,793	7,264
営業外収益合計	134,391	189,823
営業外費用		
支払利息	53,538	70,691
手形売却損	703	798
為替差損	4,084	553
その他	3,606	4,856
営業外費用合計	61,933	76,900
経常利益又は経常損失(△)	△181,361	10,834
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△181,361	10,834
法人税、住民税及び事業税	△59,412	△994
法人税等調整額	—	△318
法人税等合計	△59,412	△1,313
中間純利益又は中間純損失(△)	△121,949	12,148
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△121,949	12,148
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△312,159	1,177,045
繰延ヘッジ損益	△8,461	△392
退職給付に係る調整額	△32,502	△55,492
その他の包括利益合計	△353,124	1,121,160
中間包括利益	△475,073	1,133,308
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△475,073	1,133,308
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△181,361	10,834
減価償却費	49,644	60,443
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,064	270
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△44,067	△55,467
受取利息及び受取配当金	△126,504	△177,338
支払利息	53,538	70,691
売上債権の増減額(△は増加)	615,544	△33,635
棚卸資産の増減額(△は増加)	△321,188	△418,158
仕入債務の増減額(△は減少)	△693,205	△164,724
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,618	△642
その他	△159,177	△145,152
小計	△823,333	△852,879
利息及び配当金の受取額	116,811	165,094
利息の支払額	△57,051	△73,538
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,098	△1,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	△771,671	△763,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△21,030	△81,369
投資有価証券の取得による支出	△1,067	△1,170
投資有価証券の売却による収入	58,779	—
出資金の回収による収入	—	300,000
その他の支出	△61,152	△11,396
その他の収入	48,824	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,352	206,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	765,970	1,270,733
短期借入金の返済による支出	△742,086	△413,884
長期借入金の返済による支出	—	△650,000
リース債務の返済による支出	△12,166	△10,858
自己株式の取得による支出	△436	△343
配当金の支払額	△120,664	△119,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,384	75,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△856,702	△481,097
現金及び現金同等物の期首残高	2,675,275	2,063,674
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,818,572	1,582,576

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事業	建 物 の 賃 貸 業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	465,061	1,795,196	195,816	1,283,383	504,140	4,243,597	2,017	4,245,615
セグメント間の 内部売上高又は振替高	297	4	13,440	161	42,002	55,905	—	55,905
計	465,358	1,795,200	209,256	1,283,544	546,142	4,299,502	2,017	4,301,520
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△84,767	△84,287	△54,167	△176,251	303,527	△95,946	△25,630	△121,576

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△95,946
「その他」の区分の損失(△)	△25,630
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△132,243
中間連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△253,820

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事業	建 物 の 賃 貸 業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	417,888	2,463,968	137,093	1,221,495	497,899	4,738,346	2,395	4,740,742
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	20,392	41,083	61,475	—	61,475
計	417,888	2,463,968	137,093	1,241,887	538,983	4,799,821	2,395	4,802,217
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△94,513	133,020	△149,411	△185,792	292,798	△3,899	1,477	△2,421

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△3,899
「その他」の区分の利益	1,477
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△99,667
中間連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△102,088

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。